



稲作技術情報

新潟地方気象台発表(9/3)の1か月予報では、今後も気温が平年よりもかなり高くなる見込みとなっています。出穂期以降の登熟期間が高温で推移しているため、収穫期が早まる見込みとなっており、刈り遅れによる品質低下とならないように適期に作業を行いましょう。

本年産米の総仕上げとなる収穫・調製の時期です。慌てず安全第一で農作業事故を起こさないように注意をお願いいたします。

●適期収穫について

・積算温度950℃到達を目安に必ず圃場ごとの籾の黄化率を確認し、刈り取り判断をしてください。(但し、湯沢町及び高標高地は、標準の積算気温1,000℃を目安にしてください。)

※今年はお出穂期以降の登熟期間が高温で推移しているため、収穫時期が早まる見込みです。例年通りではなく、早めの準備をお願いします。

●適正な乾燥・調製による高品質米の確保について

・フェーン現象による乾燥や刈り遅れによる籾水分の低下は乾燥作業で胴割粒が増加しやすくなります。

※胴割粒発生を軽減するためには、乾燥温度を下げ乾燥速度を1時間当たり0.8%以下でゆっくり作業することが有効です。

・1.9mm以上の網目を使用し、整粒歩合85%以上を目指しましょう。

※特に高温年の場合は、積算温度1,100℃を過ぎると急激に品質が低下します。通常年よりもさらに、刈り遅れに注意して作業を進めてください！

●来年度に向けた土づくりについて

近年は気象変動による品質低下が懸念されており、影響を最小限に抑えるため土づくりは重要な作業です。稲わら・籾のすき込みと「ケイ酸」「鉄」の土づくり資材を施用し、土づくりを行いましょう！

※稲わら・籾がらのすき込みは、耕深5cm程度のごく浅打ちで、10月下旬頃までに行いましょう。

「JAみなみ魚沼米」栽培記録・GAPカード提出のお願い

栽培記録カード第1、2回目が未提出の方は、早急に提出をお願いします。

尚、栽培記録カード第3回目の提出は、出荷終了後(期限：10月23日(金))となっています。記入漏れがないよう(GAPチェック欄へのチェック等)確認の上、ご提出ください。

提出場所：アグリセンター大和・しおざわ基幹センター・各支店窓口



・稲刈り後や秋耕作業後は、道路等に泥を落とさないようにしましょう。泥を落としてしまった場合は、速やかに片づけましょう。泥を片づけるには、除雪用のプラスチックスコップがおすすめです。

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課

(アグリセンター大和：Tel777-3786 しおざわ基幹センター：Tel782-1171)

までお問い合わせください。

秋の土づくりキャンペーンのご案内

高品質・良食味米の安定生産には、稲が必要とする養分や水分の吸収力の向上など急激な環境変化に対して強い稲づくりが重要であり、刈り取り後の土づくり資材の施用に取り組みましょう。

JAでは土づくり支援として「秋の土づくりキャンペーン」を企画し、土づくり資材を特別価格で販売します。ぜひ、有機物資材とあわせてご利用ください。

○キャンペーン期間

- ・令和2年9月15日から10月31日の間、下記の資材を特別価格で販売します。
(商品の代金決済は、通常決済のみであることを予めご了承ください。)

○おすすめ土づくり資材

資材名 (規格)	保証成分 (%)	店頭価格 (税込)	10a 施用量 (kg)
魚沼ロマン アイアンスター (20kg)	ケイ酸12、リン酸8、苦土5、 アルカリ分17.5 ※含有成分：鉄約9.5、腐植酸約6	2,233円	60kg
けい酸加里 プレミアム34 (20kg)	ケイ酸34、加里20、苦土4、 ホウ素0.1 ※含有成分：鉄約2～5、 アルカリ分7～12	2,365円	40～ 60kg
みつパワー (20kg)	マンガン10 ※含有成分：ケイ酸25.1、苦土2.7、 鉄1.7、カルシウム21.7	1,067円	60～ 120kg

○ケイ酸と鉄を施用して稲体の健全化をはかりましょう!!

- ・ケイ酸は根の水分吸収量を向上させるため、稲体が強くなり、病害虫や倒伏、気象変動の影響を受けにくくする効果があります。
- ・鉄は根に有害な硫化水素と結合し、無害にさせる効果があります。鉄が不足すると硫化水素により根の養分吸収が阻害され根腐れの原因となります。この現象が秋落ちとよばれています。

○資材のお問い合わせは各アグリセンターまでご連絡ください。

- ・アグリセンター大 和：777-2431 六日町：773-6121
しおざわ：782-1171 湯 沢：785-5313